

## ボルグワーナー、三菱ふそうの世界初の 量産電気小型トラック「eCanter」向けに 電気モーターとトランスミッション「eGearDrive®」を提供

- 世界初の量産電気小型トラックの初回発売をサポート
- コンパクトな電気モーターが業界トップのトルクと出力密度を実現
- 静音性と高効率な性能を備えたトランスミッションで電気走行距離を向上

ボルグワーナー(本社:アメリカ合衆国ミシガン州アーバンヒルズ、社長兼最高経営責任者:ジェームズ・ベリアー/James Verrier)は、世界初となる三菱ふそうの量産電気小型トラック「eCanter」の初回発売向けに、電気モーター「HVH250」および高効率トランスミッション「eGearDrive®」を供給します。三菱ふそうによると、現在200台を超える第3世代トラックの都市部での走行試験が行われています。ボルグワーナーのスケラブルな電気モーターHVH250は、業界トップのトルクおよび出力密度を実現します。また、ボルグワーナーの高効率トランスミッション eGearDrive は、軽量かつコンパクトな設計と高効率なギアトレインによって、バッテリーエネルギーの消費を抑え、バッテリー駆動の走行距離を向上させます。

ボルグワーナーの電気モーターHVH250は、従来の巻丸線に代わり、精密に形成された平角線と複数の層から成るインターロック型「ヘアピン」を使用しています。この特許取得済みの高電圧ヘアピン(HVH)技術によって、HVH250モーターが700ボルトで最大425Nmのトルクと300kWの出力を生み出すのを可能にしています。容易に組み込めるコンパクトな設計を特長とするHVH250モーターは、95%を超えるクラス最高効率を発揮し、競合モデルよりも優れた連続出力を実現します。ボルグワーナーのHVH電気モーターシリーズは柔軟性を考慮して設計されており、低負荷から高負荷まで幅広い用途向けにスケラブルなトルクと出力を提供します。

eGearDriveトランスミッションの軽量かつコンパクトな設計と高効率なギアトレインは、高トルク容量を実現する一方で、バッテリーエネルギーの消費を抑えます。この先端技術は、最大14,000rpmの高速入力速度に対処するほか、さまざまなモーターサイズ向けの最適な加速のために幅広いギア減速比を

提供します。オプションで電動パーキングブレーキシステムも利用できます。また、eGearDriveトランスミッションに使用されている資材の約99%が再生利用可能であり、この技術は持続可能性の向上にも貢献します。

ボルグワーナーのグループ会社、ボルグワーナー・パワードライブシステムズの社長兼事業本部長のステファン・デメール博士(Dr. Stefan Demmerle)は、「ここ数年間、当社のエンジニアは三菱ふそうと緊密に連携し、この画期的なプロジェクトに取り組んできました。三菱ふそうがパワフルで持続可能な商用車のモビリティへの道を切り開くにあたり、当社の高効率で環境に配慮した技術を提供できることを大変うれしく思います。」と述べています。



世界初となる三菱ふそうの量産電気小型トラック「eCanter」の初回発売向けのボルグワーナーの電気モーター「HVH250」(左)および高効率トランスミッション「eGearDrive®」(右)

### ボルグワーナーについて

ボルグワーナー (NYSE: BWA) は、自動車の内燃機関、ハイブリッド、電気自動車向けのクリーンで高効率な技術ソリューションを提供するグローバルなリーディングカンパニーです。世界17カ国64カ所に生産・開発拠点を持ち、全世界でおよそ27,000人の従業員を擁しています。詳細については、[borgwarner.com](http://borgwarner.com) をご覧ください。

ボルグワーナーは、2018年1月17日(水)～19日(金)に、東京ビッグサイトで開催される「第9回EV・HEV駆動システム技術展 ～EV JAPAN～」に出展しています。(東ホール6、ブース番号E57-40) ご取材のご依頼はボルグワーナー広報事務局までお願いいたします。

本プレスリリースに記載された内容には、経営陣の現在の見通し、期待、推測、予測に基づく、1995年米国私的有価証券訴訟改革法で想定された将来予測に関する記述が含まれている場合があります。「見込む」、「考える」、「継続する」、「可能性がある」、「目的とした」、「もたらす」、「推測する」、「評価する」、「期待する」、「予測する」、「目標」、「取り組み」、「意図する」、「見通し」、「計画する」、「潜在的」、「計画」、「追求する」、「目指す」、「すべき」、「目標とする」、「の場合」、「と見込まれる」といった文言、その変化形、同様の表現は、かかる将来予測に関する記述であることを明示することを意図しています。将来予測に関する記述にはリスクと不確実性が付随しますが、そうしたリスクや不確実性の多くは予測困難かつ一般に不可抗力によるものであり、将来予測に関する記述において表現、予測、示唆された事柄が実際の結果と著しく異なる場合があります。そうしたリスクおよび不確実性には、国内外の車両生産の変動、OEM企業による外部サプライヤーの継続的な利用、当社製品が使用された車両の需要の変動、一般的な経済情勢の変化、直近のForm 10-K年次報告書で挙げたリスク要因をはじめとして当社が証券取引委員会に提出した報告書で述べたリスクが含まれます。当社は、将来予測に関する記述のいずれかを更新する、または更新もしくは改訂を公表する義務を負いません。

<報道に関するお問い合わせ>

ボルグワーナー広報事務局 副島、中井

TEL : 03-3571-5326 FAX : 03-3574-0316 E-mail : borgwarner-pr@kyodo-pr.co.jp